

## 令和7年度新潟市防災会議 会議概要

開催日時	令和8年3月27日(金) 午後3時から午後3時30まで
会場	市役所本館6階 講堂、オンライン(Zoom)
出席者	<p>委員 1～8号(国、県の関係機関/運輸、通信インフラ施設などの事業者/警察、消防、自衛隊、医療関係の救助機関/各区自治協議会選出委員)</p> <p>事務局 新潟市危機管理防災局防災課</p>
議事等	<p>1 開会</p> <p>○ 委員出席状況 委員64名のうち46名(代理出席含む) 内訳: 参集参加35名、オンライン参加11名</p> <p>2 挨拶</p> <p>○ 新潟市防災会議会長の中原市長が挨拶をしました。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 令和7年度新潟市地域防災計画修正について 事務局の説明を基に、新潟市地域防災計画の修正案を審議し、計画の修正が承認されました。</p> <p>4 報告</p> <p>(1) 新たな防災気象情報について 新潟地方気象台より、新たな防災気象情報について、説明しました。</p> <p>5 その他</p> <p>女性委員の選出に関する依頼について、説明しました。 地域防災計画の冊子作成について説明しました。</p> <p>6 閉会</p>
傍聴者	なし
報道機関	1社

# 新潟市地域防災計画の修正概要

能登半島地震の災害初期対応検証報告書を踏まえて

## 課題・問題点

- 被災者支援制度の体制が未整備  
→支援制度の新設や拡充により、運用開始までに時間を要した。
- 被災された方への相談窓口の体制が不十分  
→窓口会場や人員を速やかに確保できなかった。
- BCP（業務継続計画）の判断基準が不明確  
→通常業務の継続と停止、縮小の判断が難しく、災害対応の人員が限られた。

## その他

災害対応の業務分担を明確にするため、計画本文に担当班を記載（例）保健衛生対策部→保健衛生総務班

## 改善目的

●体制の確立により、被災された市民の早期の生活再建を図る

- 行政機能の継続性の確保
- 早期の行政機能の回復

## 取組

- 「応急対策」、「復旧」・「復興」業務と対応する本部を整理（第4部）  
応急対策→災害対策本部  
復旧・復興→復旧・復興本部（統括本部員を新たに設置）
- 「チームにいがた」活動ガイドラインの反映（第4部）  
→生活再建支援業務編に則り、業務を進めることを明記
- BCP発動基準（追加条件）を記載

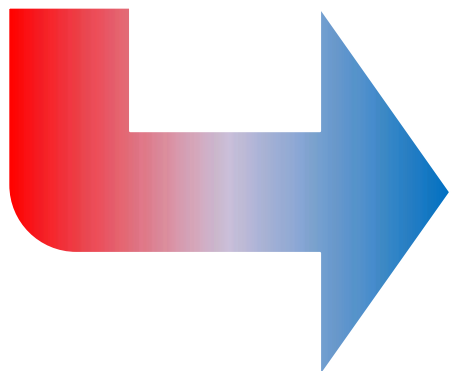
# 新しい防災気象情報（警戒レベル相当情報）

現在					
警戒レベル相当情報	指定河川洪水予報	洪水	大雨浸水	土砂災害	高潮
5	氾濫発生情報	大雨特別警報(浸水害)		大雨特別警報(土砂災害)	高潮氾濫発生情報
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞					
4	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報(浸水害)	大雨警報(土砂災害)	(警報に切り替える可能性の高い) 高潮注意報
2	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1	早期注意情報				

令和8年5月下旬から				
警戒レベル相当情報	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
	1級河川などの大河川の氾濫	低地の浸水や大河川以外の氾濫	急傾斜地のがけ崩れや土石流	海水面の上昇や波のうちあげによる浸水
5	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮 特別警報
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞				
4	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮 危険警報
3	レベル3 氾濫 警報	レベル3 大雨 警報	レベル3 土砂災害 警報	レベル3 高潮 警報
2	レベル2 氾濫 注意報	レベル2 大雨 注意報	レベル2 土砂災害 注意報	レベル2 高潮 注意報
1	早期注意情報			

**情報名称だけでは  
とるべき行動がわかりにくい**

- ・名称がバラバラ（警報？警戒情報？）
- ・警戒レベルに対応する情報が無いなど…



**レベルの数字で、とるべき行動が分かる！**

- ・情報名称そのものに、**レベルの数字**が付く  
「レベル〇＋現象名＋警報等の種別」という構成に統一化
- ・警戒レベル4相当の情報として**危険警報**を新設
- ・大河川以外の河川氾濫への注意・警戒は大雨の情報に統一